

LIXIL、合併を完了し、事業会社体制へ移行

株式会社 LIXIL（以下 LIXIL）は、持株会社だった株式会社 LIXIL グループと、100%子会社だった株式会社 LIXIL が本日付で合併し、事業会社として業務運営を行う体制に移行しましたのでお知らせいたします。また、合併後の存続会社である株式会社 LIXIL グループの商号を、株式会社 LIXIL に変更しました。

LIXIL では、起業家精神にあふれ、高い競争力を持ち、持続的な成長を通じて社会に貢献できる組織の構築に向けて、様々な組織の変革を推進してきました。従来の持株会社体制から、事業会社体制に移行することで、意思決定の迅速化や業務運営の効率化を実現します。また、持株会社と事業会社という2層構造を解消することで、経営体制を簡素化することができ、意思決定の透明性を高め、ガバナンスの強化にもつながります。

LIXIL 社長兼 CEO 瀬戸欣哉は、次のようにコメントしています。

「この度 LIXIL は、合併を完了し、持株会社体制から事業会社体制へと移行して、新生 LIXIL としてスタートいたします。当社では、起業家精神にあふれ、より機動的な組織への転換を推進してきましたが、この合併はこうした取り組みの大きな節目だといえます。新体制の下で、より迅速な意思決定と経営の効率化が可能となり、経営体制の簡素化による透明性やグループガバナンスの向上を図ります。LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいの実現に向けて、基幹事業へのさらなる注力を進め、成長を加速させてまいります」

なお、LIXIL の取締役および執行役の体制は、合併前から変更ありません。詳細は、本日発表の[適時開示](#)をご覧ください。

■ LIXIL について

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約60,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

株式会社LIXIL（証券コード: 5938）は、2020年3月期に1兆5,144億円の連結売上高を計上しています。

LIXILグローバルサイト：<https://www.lixil.com/jp/>

LIXIL Facebook（グローバル向け）：<https://www.facebook.com/lixilglobal/>

LIXIL Facebook（日本国内向け）：<https://www.facebook.com/lixilcorporation>